

授業科目 看護倫理学 (CNS コース)	科目概要・形式 2単位30時間(15コマ) 講義科目	配当年次 博士前期1年次 後期開講	オンライン参加 ☑・不可 (下記6,7参照)																																													
科目責任者	福井 幸子																																															
担当者	福井 幸子、佐藤 愛、新改 法子、角田 ますみ (非常勤：杏林大学)、 安高 久美子 (非常勤：産業医科大学病院)																																															
1. 科目のねらい・目標 ねらい ヘルスケアの現場で看護職が直面する倫理的課題を把握し、倫理的意思決定能力を高めるために倫理に関する基本的概念や理論を学び、さらに、倫理的な問題・葛藤について関係者間での調整を行う上で求められる高度実践看護師の活動について探究する。また、看護研究における倫理的配慮について学ぶ。 目標 1) 倫理的感受性を高め、ヘルスケアの現場に存在する多様な倫理的課題について説明できる。 2) 倫理的分析と意思決定の方法を学び、看護を実践する中で遭遇する倫理的課題の解決に向けた行動について説明できる。 3) 倫理的な問題や葛藤を解決するために必要な高度実践看護師の役割について説明できる。 4) 人を対象とした医学研究や看護研究を行う際に必要な倫理的配慮について説明できる。																																																
2. 授業計画・内容 1) 授業計画 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%;">1回目</td> <td style="width: 60%;">生命倫理学が誕生した背景、生命倫理の原則</td> <td style="width: 30%;">[福井幸子]</td> </tr> <tr> <td>2回目</td> <td>看護倫理の変遷、看護実践上の倫理的概念と倫理的課題</td> <td>[福井幸子]</td> </tr> <tr> <td>3回目</td> <td>看護が遭遇する倫理的問題の種類、倫理的意思決定</td> <td>[福井幸子]</td> </tr> <tr> <td>4回目</td> <td>いのちの始まりにおける倫理的問題 女性のリプロダクティブライツと胎児の生存権</td> <td>[佐藤 愛]</td> </tr> <tr> <td>5回目</td> <td>不妊治療、出生前診断、人工中絶</td> <td>[佐藤 愛]</td> </tr> <tr> <td>6回目</td> <td>人生の最終段階における倫理的問題</td> <td>[角田ますみ]</td> </tr> <tr> <td>7回目</td> <td>人生の最終段階における医療・ケアの意思決定</td> <td>[角田ますみ]</td> </tr> <tr> <td>8回目</td> <td>倫理的分析の方法と倫理的意思決定</td> <td>[福井幸子]</td> </tr> <tr> <td>9回目</td> <td>倫理的分析の方法と倫理的意思決定 (高齢患者の事例)</td> <td>[福井幸子]</td> </tr> <tr> <td>10回目</td> <td>倫理的分析と倫理的意思決定：事例検討 (感染症看護)</td> <td>[新改法子]</td> </tr> <tr> <td>11回目</td> <td>倫理的分析と倫理的意思決定：事例検討 (感染症看護)</td> <td>[新改法子]</td> </tr> <tr> <td>12回目</td> <td>倫理的分析と倫理的意思決定：事例検討 (がん看護)</td> <td>[安高久美子]</td> </tr> <tr> <td>13回目</td> <td>倫理的分析と倫理的意思決定：事例検討 (がん看護)</td> <td>[安高久美子]</td> </tr> <tr> <td>14回目</td> <td>専門看護師による倫理調整</td> <td>[新改法子] [福井幸子]</td> </tr> <tr> <td>15回目</td> <td>看護研究における倫理的配慮</td> <td>[福井幸子]</td> </tr> </table> 2) 授業内容 配布資料を用いた講義と、事例分析の演習				1回目	生命倫理学が誕生した背景、生命倫理の原則	[福井幸子]	2回目	看護倫理の変遷、看護実践上の倫理的概念と倫理的課題	[福井幸子]	3回目	看護が遭遇する倫理的問題の種類、倫理的意思決定	[福井幸子]	4回目	いのちの始まりにおける倫理的問題 女性のリプロダクティブライツと胎児の生存権	[佐藤 愛]	5回目	不妊治療、出生前診断、人工中絶	[佐藤 愛]	6回目	人生の最終段階における倫理的問題	[角田ますみ]	7回目	人生の最終段階における医療・ケアの意思決定	[角田ますみ]	8回目	倫理的分析の方法と倫理的意思決定	[福井幸子]	9回目	倫理的分析の方法と倫理的意思決定 (高齢患者の事例)	[福井幸子]	10回目	倫理的分析と倫理的意思決定：事例検討 (感染症看護)	[新改法子]	11回目	倫理的分析と倫理的意思決定：事例検討 (感染症看護)	[新改法子]	12回目	倫理的分析と倫理的意思決定：事例検討 (がん看護)	[安高久美子]	13回目	倫理的分析と倫理的意思決定：事例検討 (がん看護)	[安高久美子]	14回目	専門看護師による倫理調整	[新改法子] [福井幸子]	15回目	看護研究における倫理的配慮	[福井幸子]
1回目	生命倫理学が誕生した背景、生命倫理の原則	[福井幸子]																																														
2回目	看護倫理の変遷、看護実践上の倫理的概念と倫理的課題	[福井幸子]																																														
3回目	看護が遭遇する倫理的問題の種類、倫理的意思決定	[福井幸子]																																														
4回目	いのちの始まりにおける倫理的問題 女性のリプロダクティブライツと胎児の生存権	[佐藤 愛]																																														
5回目	不妊治療、出生前診断、人工中絶	[佐藤 愛]																																														
6回目	人生の最終段階における倫理的問題	[角田ますみ]																																														
7回目	人生の最終段階における医療・ケアの意思決定	[角田ますみ]																																														
8回目	倫理的分析の方法と倫理的意思決定	[福井幸子]																																														
9回目	倫理的分析の方法と倫理的意思決定 (高齢患者の事例)	[福井幸子]																																														
10回目	倫理的分析と倫理的意思決定：事例検討 (感染症看護)	[新改法子]																																														
11回目	倫理的分析と倫理的意思決定：事例検討 (感染症看護)	[新改法子]																																														
12回目	倫理的分析と倫理的意思決定：事例検討 (がん看護)	[安高久美子]																																														
13回目	倫理的分析と倫理的意思決定：事例検討 (がん看護)	[安高久美子]																																														
14回目	専門看護師による倫理調整	[新改法子] [福井幸子]																																														
15回目	看護研究における倫理的配慮	[福井幸子]																																														
3. 教科書、参考書 参考書：1) サラ・フライ (片田範子訳), 看護実践の倫理(第3版), 日本看護協会出版会, 2010. 2) 宮坂道夫編, 系統看護学講座別巻 看護倫理 (第3版), 医学書院, 2024.																																																

- 3) Albert R. Jonsen /赤林朗, 他監訳, 臨床倫理学 (第5版), 新興医学出版社, 2006.
4) 鶴若麻理, 長瀬雅子編, 看護師の倫理調整力 専門看護師の実践に学ぶ, 日本看護協会出版会, 2018.

4. 成績評価方法

- ①課題プレゼンテーション、ディスカッション (30%)
②レポート (70%)

5. 受講要件

なし

6. 社会人学生に対する配慮

夜間開講を予定しています。講義の日時およびオンライン授業等は相談に応じます。

7. その他

本科目は、一部オンライン講義を含みますが、基本的に対面による授業とします。
やむを得ない理由による欠席等でオンデマンドを希望する場合は事前に教員に相談してください。
視聴を許可した場合は、授業の概要および発問への意見をレポートにまとめて、指定した期日内に提出していただきます。授業担当者が学習目標に沿って評価し、目標達成が認められた場合に出席とみなします。